I-O DATA

IEEE 1394インターフェイスボード

1394-PCI3シリーズ

取扱説明書

105183-02

弊社は、お客様が以下の【使用許諾条件】および【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

【使用許諾条件】

1) 本製品および本書は株式会社アイ・オー・データ機器と提供者の著作物です。
したがって、本製品および本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
3) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
4) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
5) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

【ご注意】

1) 本製品および本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
2) 本製品および本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●VideoStudio,PhotoImpact,Cool 3Dは、Ulead System社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 　「発火注意」を表す絵表示

⊘

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例） 　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。

火災・感電・動作不良の原因となります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となります。
- 本製品の場合は、指定されたスロットに水平に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください。

  正しく装着されていないと火災および故障の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で取り付け、取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

⚠ 注意

厳守

本製品には裏面にハンダ付けの跡があり、とがっている場合があります。

誤って手などをけがしないように、取り付け・取り外しの際は本製品の両端を持ってください。

厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。
また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない（特に電源がONになっているときは絶対に振動や衝撃を加えない）
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

注意

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

お読みになる前に

呼び方

呼び方	意　味
1394-PCI3シリーズ	1394-PCI3/DV6および1394-PCI3の総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System, Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows XP/2000	Windows XPおよびWindows 2000の総称
Windows Me/98 SE	Windows MeおよびWindows 98 SEの総称
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows MeおよびWindows 98 SEの総称
1394	IEEE 1394-1995およびIEEE 1394a-2000の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください…… i
お読みになる前に…… v
もくじ…… vi

はじめに …… 1

本ボードおよび接続機器が使えるまでの流れ …… 2
箱の中には …… 4
動作環境 …… 6
各部の名前・機能 …… 9
特徴 …… 10

準備する（使う前の準備） …… 13

ボードを取り付ける …… 16
Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合 …… 16
ボードをパソコンに取り付ける …… 17
インストールする（Windows 98 SEのみ） …… 20
Windows 98 SE自体をアップデートする（Windows 98 SEのみ） …… 27
本ボードが正常に認識されているかを確認する …… 31
Windows XP/2000の場合 …… 31
Windows Meの場合 …… 33
Windows 98 SEの場合 …… 35
「VideoStudio」「PhotoImpact」をインストールする（1394-PCI3/DV6のみ） …… 38
「COOL 3D」をインストールする（1394-PCI3/DV6のみ） …… 39

DV機器を使う 41

基本操作 42
内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する(Windows Me/98 SEのみ) . 43
DV機器を接続する 46
DV機器が正しく接続されているかを確認する..... 49
Windows XP/2000の場合 49
Windows Me/98 SEの場合 51
DV機器をWindows上から操作する 53
DV機器を取り外す場合..... 54

ストレージ機器を使う
（ハードディスクやMOドライブ等を接続する） 55

基本操作 56
ストレージ機器を接続する..... 57
ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する..... 60
Windows XP/2000の場合 60
Windows Me/98 SEの場合 62
ストレージ機器を取り外す場合 66

ふろく 69

正常に動作しない場合..... 70
本ボードに２台以上の機器を接続する場合 77
用語解説 81
仕様 82

お問い合わせ..... 83
サービス品に関するお問い合わせ（1394-PCI3/DV6のみ）.... 84
修理について..... 85
ユーザー登録..... 87

はじめに

本ボードおよび接続機器が使えるまでの流れ …… 2

ご使用のOSや、ご使用用途により、手順が異なります。
おおまかな手順をここでご確認ください。

箱の中には …… 4

箱の中のものを確認します。

動作環境 …… 6

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名前・機能 …… 9

本製品の各部の名前とその機能を確認します。

特徴 …… 10

本製品の特徴や、ご使用方法を提案します。

本ボードおよび接続機器が使えるまでの流れ

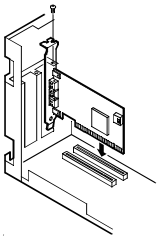
必ず行ってください

はじめに

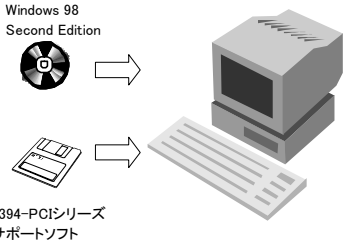
箱の中身を確認します。……4ページ
対応しているパソコンや
　OSを確認します。……6ページ
各部の名称や機能を
確認します。……9ページ

準備する

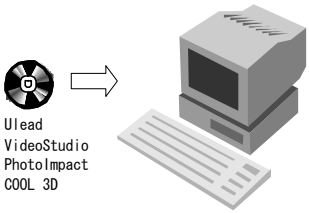
本ボードをパソコンに
　取り付けます。…16ページ



Windows 98 SEをお使いの場合は、
以下の①および②を行います。
①「Windows 98 SE」CD-ROMから
　ドライバソフトをインストール
　します。 ……20ページ
②添付の「1394-PCIシリーズサポー
　トソフト」ディスクで、
　Windows 98 SE自体を更にアップ
　デートします。 ……27ページ



1394-PCI3/DV6の場合は、添付の
「VideoStudio」「PhotoImpact」や
「COOL 3D」もインストールし
ます。……38,39ページ



使ってみよう

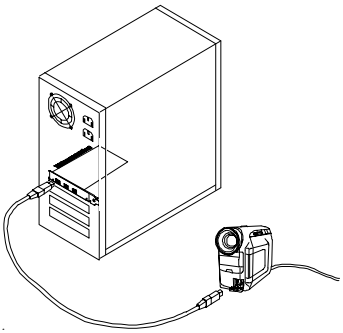
DV機器を使う

基本操作を確認します。……42ページ

DV機器を接続します。……46ページ

DV機器が正しく接続されて
いるかを確認します。……49ページ

DV機器をWindows上から
操作します。…53ページ

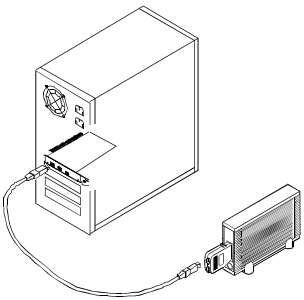


ストレージ機器を使う
（ハードディスクやMOドライブなどを接続する）

基本操作を確認します。……56ページ

1394対応のハードディスク、MOドライブなどのストレージ機器を接続します。……57ページ

ストレージ機器が正しく接続されているかを確認します。……60ページ



箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

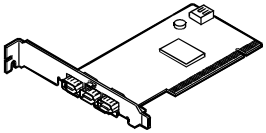
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

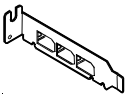
実物と若干異なる場合があります。

□ **IEEE 1394インターフェイスボード**



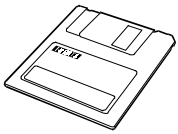
☑ **1394-PCI3シリーズ取扱説明書**

□ **Low Profile用板金**



□ **ハードウェア保証書**

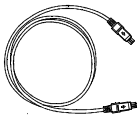
□ **1394-PCIシリーズサポートソフト**



●以下および次ページの＜サービス品＞は1394-PCI3/DV6のみの添付品です。

□ **DVケーブル**

［6ピン⇔4ピン（1.5m）］



＜サービス品＞

以下はすべてサービス品に付き、弊社ではサポート致しかねます。製品の内容に関してはユーリード社にお問い合わせください。
（別紙『Ulead Systems お客様保管用カード』参照）

☐ **CD-ROM（2枚）**

「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」※
「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」を収録
※OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。
・GIFに対応していません。
・サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。
「日本語版Ulead COOL 3D 3 SE」を収録

☐ **Ulead Systems お客様保管用カード（1枚）**
（お問い合わせ先を記載しています。）

※ Ulead製品の取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。
「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」の場合…
¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF
「日本語版Ulead COOL 3D 3 SE」の場合…
¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF

サービス品に関するお問い合わせ

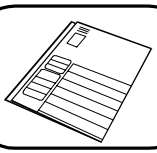
添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp/**
E-mail	**support@ulead.co.jp**

受付時間　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

ユーザー登録はお済みですか？
87ページに登録方法が記載されています。登録してから次ページへ進みましょう！



動作環境

対応機種および対応OS

機種	ＯＳ（日本語版のみ）
PCI 2.1以上搭載の下記の機種 （Low Profile PCI搭載機種でもご利用になれます。） ・PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 注）標準で1394インターフェイスを搭載している機種では使用できません。また、他の1394インターフェイスボードとの併用もできません。 注）NEC PC-9821シリーズでは、ご使用いただけません。	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE

注意

・本ボードは、Windows XP/2000/Me/98 SEのみの対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。(Windows 98 SEの確認方法は以下参照)
Windows 98を含む他のOSから、Windows XP/2000/Me/98 SEへの変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。
・Windows XP/2000/Me/98 SEがご使用のパソコン本体に対応していないと、本製品が正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、一度本体メーカやOSメーカ各社へお問い合わせください。
・パソコン本体の性能によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

＜Windows 98 SEの確認方法＞

①［マイコンピュータ］を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［全般］タブで［システム］欄に**“Microsoft Windows 98 Second Edition”**と表示されていれば、Windows 98 SEです。

DV機器を使用する場合に必要な環境

DV機器を使用する場合に、1394-PCI3/DV6添付のアプリケーションソフト（Ulead VideoStudio）を動作させるには、Windowsが動作する以外に、さらに、以下の環境が必要です。

CPU	Intel PentiumⅢ（700MHz以上推奨） （Pentium4 最適化）
メモリ	128Mバイト以上（256Mバイト以上推奨）
ハードディスク	・UltraATA/33以上（内蔵IDEハードディスクの場合） ・500Mバイト以上の空き容量（4Gバイト以上推奨） 500Mバイトは、ドライバソフト等のインストール領域です。500Mバイト以外に静止画および動画ファイル保存用として空き領域が必要です。 例）・１分間の動画キャプチャには約220Mバイトの空き容量が必要です。（2Gバイトの空き容量がある場合は、約9分30秒の動画キャプチャを行うことができます。） ・静止画１枚につき、１Mバイトの空き容量が必要です。
グラフィック	解像度800×600ハイカラー以上の表示ができること （1024×768フルカラー以上推奨）
CD-ROMドライブ	アプリケーションのインストール用
サウンド環境	音声再生用

注意

・CPU速度、ハードディスクの転送速度、グラフィックボード、その他使用状況により動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
・D-VHS、CSチューナーなどには対応しておりません。

注意　SiS530チップセット搭載パソコンをお使いのお客様へ

SiS530グラフィックチップセットは32bitカラーでのオーバーレイに対応していません。（以下の表参照）
このような環境で本ボードをご使用の際は、16bitカラーモードでご使用ください。

《SiS530搭載機種一覧》

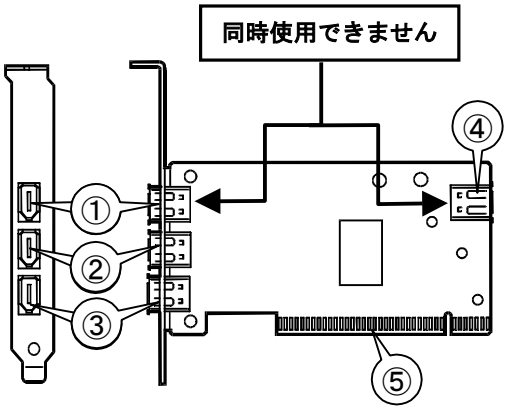
メーカー	機種名	
NEC	Mate NX R	MA35L/RZ　MA35L/R5　MA35L/R7　MA35L/RH
	VALUESTAR NX R	VR35L/75C,D　VR35L/85D　VR400M/7ZC,7ZD VR400M/77C,77D　VR400M/85D　VR400M/87D
富士通	FMV-DESKPOWER FMV5350ML3	ME355　ME35B
IBM	Aptiva	10J（2165-0J4,0J5）　11J（2165-1J4,1J5） 12J（2165-2J4）　15J（2165-5J4,5J7,5JT） 16J（2165-6J4,6J7,6JT）

動作確認済みのDV機器について

対応機種は随時更新いたします。最新情報を弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）にてご確認ください。

パソコン本体の性能によっては、映像のコマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

各部の名前・機能



No	名前	機能
①	1394ポート (外付機器接続用 ：6ピンタイプ)	機能は以下の②③1394ポート(外付機器接続用)と同じですが、④1394ポート(内蔵機器接続用)と同時に使用することはできません。
② ③	1394ポート (外付機器接続用 ：6ピンタイプ)	1394対応の外付機器を接続するポートです。 どちらに接続しても構いません。 **・4ピンタイプの1394機器(主にDV機器)と接続する場合** 1394-PCI3/DV6の場合、添付のDVケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 1394-PCI3の場合、機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 **・6ピンタイプの1394機器(主にストレージ機器)と接続する場合** 機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔6ピン)で接続します。
④	1394ポート (内蔵機器接続用 ：6ピンタイプ)	1394対応の内蔵機器を接続するポートです。 ケーブルは内蔵機器に付属のものをお使いください。 ①1394ポート(外付機器接続用)と同時に使用することはできません。
⑤	PCIバス部	パソコン本体のPCIバススロットに取り付け、1394ポートとパソコンとのデータの受け渡しを行います。

特　徴

●デジタル品質の映像・データをパソコンと接続機器間でダイレクト転送

OHCI※準拠IEEE 1394インターフェイスです。
DV(i.LINK)端子搭載のDV機器とパソコンとの双方向のデジタルデータ転送が可能です。
※ Open Host Controller Interfaceの略。

●６ピンタイプのポートを４ポート用意

外付1394機器用に３ポート、内蔵1394機器用に１ポート用意しています。
※ 同時にご使用いただけるのは、３ポートまでです。

●接続機器への電源供給も可能

1394対応の接続機器には、自ら電源を供給するもの（セルフパワー）と、1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類があります。本ボードは、その両方のタイプに対応しております※。
※ 本ボードはPCIバスから電源を取り、1394機器に対し電源供給を行なうよう設計されております。そのため、PCIバス側の電源供給能力によっては仕様（6W）を満足できない場合があります。

●1394対応のハードディスクやMOドライブなどのストレージ機器に対応

1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器の接続も可能です。

●Plug&PlayやHot Plugに対応し、最大63台の1394機器を接続可能

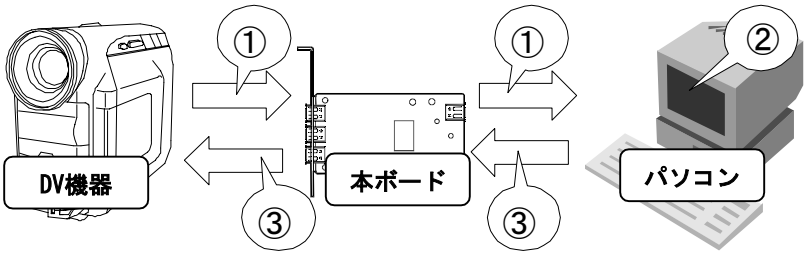
デイジーチェーンやスター型接続の対応など、最大63台の機器を接続できます。
（デイジーチェーン接続のみの場合には、最大16台までです。詳細は77ページを参照してください。）
機器間を接続するケーブル長は最大4.5mまで可能です。
（接続機器によっては接続条件などが発生する場合があります。詳細は、接続機器メーカーにお問い合わせください。）

●「Low Profile PCI」を搭載した省スペース型パソコンにも対応

Low Profile PCIとは‥‥‥
取付金具の高さが従来より約４cm低くなった新しいPCIボードの規格で、省スペース型パソコンの拡張性の向上などを目的に採用されています。
サイズは小さくなりましたが、電圧やバス幅などの基本的性能は全く変わりません。

●DVビデオやDVデッキをつないで、あなたもミニ編集者に…

DVテープからの映像をパソコンに取り込んで、編集およびDVテープへの録画をパソコン上でできます。



① DV機器からパソコンに映像データを読み込む（キャプチャ）
② 読み込んだデータをUlead VideoStudio※で編集する
※ Ulead VideoStudioは1394-PCI3/DV6にのみ添付。
③ 編集したデータをDV機器に書き込む（録画）

●IEEE 1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）も接続できる

Plug&PlayやHot Plugに対応しておりますので、Windows起動状態でもストレージ機器を接続したり、取り外したりできます。
最大63台の機器を接続できます。（デイジーチェーン型接続のみの場合には、最大16台までです。詳細は77ページを参照してください。）
機器には、電源ケーブルやACアダプタにより自ら電源供給を行うもの（セルフパワー）と接続ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー※）の２種類のタイプが存在しますが、本ボードは、その両方に対応しております。
※ 本ボードが供給可能な電力は、3ポート合わせて6Wまでです。

●日本語版Ulead VideoStudio 6 SEを添付（1394-PCI3/DV6のみ）

Ulead VideoStudioは、ホームビデオの編集に最適なアプリケーションソフトです。
ハードディスクへの映像の取り込み（キャプチャ）はもちろん、編集や100種類以上の特殊効果による加工が簡単に行えます。
ビデオにタイトルや見出しを挿入したり重ねたりもできます。
マイクからの肉声や音楽CDから直接BGMを取り込み、映像とリンクすることも可能です。
編集結果をテープに記録することも可能です。

●日本語版Ulead COOL 3D 3 SEを添付（1394-PCI3/DV6のみ）

Ulead COOL 3D 3はWebページ、デジタルビデオ、マルチメディアタイトル、プレゼンテーション、レポートなどに使う3Dタイトルの作成に最適なツールです。
お好きな文字を入力し、時間の経過と文字の位置をドラッグ&ドロップで指定すれば、文字が動画として移動します。さらに、マウスによる複雑な動きや予め用意された「爆発」などの特殊効果を加えることにより画面の中を3Dテキストが思い通りに動き回ります。
個々のオブジェクトにはそれぞれ異なるテクスチャ、色、フォント、斜面、アニメーションパスを指定することができます。さらに、イメージをAVI、JPEG、BMP、GIFアニメーションなどに出力することもできるので、オープニングクレジットやエンディングクレジットに特殊効果を用いたフルフレーム、フルモーションのビデオを作成することができます。

- 「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」、「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」および「日本語版Ulead COOL 3D 3 SE」は、1394-PCI3/DV6のみ添付しております。
  1394-PCI3には添付しておりません。
- 「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」、「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」および「日本語版Ulead COOL 3D 3 SE」は、弊社ではサポートしておりません。これらに関してはユーリード社にお問い合わせください。
  （お問い合わせについては、【サービス品に関するお問い合わせ】(84ページ)を参照してください。）

準備する（使う前の準備）

本ボードを取り付ける …… 16

本ボードをPCIバススロットに取り付けます。

インストールする(Windows 98 SEのみ) …… 20

本ボードを使えるようにするためのドライバソフトをインストールします。

Windows 98 SE自体をアップデートする(Windows 98 SEのみ) …… 27

Windows 98 SEをお使いの場合は、添付のサポートソフトでWindows 98 SE自体をさらにアップデートする必要があります。

本ボードが正常に認識されているかを確認する …… 31

本ボードが正しくパソコンに認識（接続）されているかどうかを確認します。

「VideoStudio」「PhotoImpact」をインストールする（1394-PCI3/DV6のみ） …… 38

1394-PCI3/DV6に添付の「日本語版Ulead VideoStudio」や「日本語版Ulead PhotoImpact」をインストールします。

「COOL 3D」をインストールする（1394-PCI3/DV6のみ） …… 39

1394-PCI3/DV6に添付の「日本語版Ulead COOL 3D」をインストールします。

本ボードをご使用いただくにあたり、一部の機能に制限などが発生する場合があります。
また、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますので以下の注意事項を必ずお読みください。

本ボードは、Windows XP/2000/Me/98 SEのみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SE以降のOSへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows XP/2000/Me/98 SEへの変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。

1394機器に関する注意事項

1394機器の接続、取り外しおよび使用方法については、1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- ●1394機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。
  1394機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
- ●1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
- ●複数の1394機器を接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
  また、1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※ 1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書もご覧ください。
※ アプリケーションなどから1394機器が認識されない場合は、Windowsを再起動してお試ください。

スタンバイモードの制限事項

本製品はスタンバイモードには対応しておりません。スタンバイモードはあらかじめ無効にしてください。

● **Windows XPの場合**

1. [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
   ※ 「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。
   ※ [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]は実行しないでください。([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

● **Windows 2000の場合**

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
   ※ 「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。
   ※ [スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]は実行しないでください。([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

● **Windows Me/98 SEの場合**

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。
   ※ [スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。

ACPIとは？

米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

ボードを取り付ける

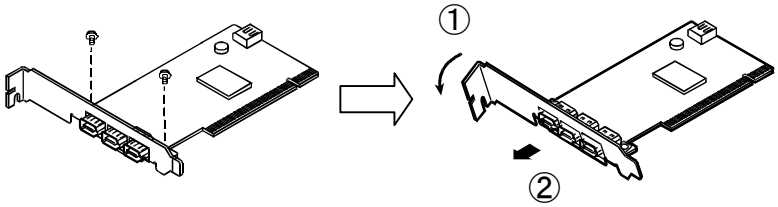
ここでは、本製品をパソコンのPCIスロットへ取り付ける手順について説明します。

Low Profile PCI搭載パソコンに取り付ける場合

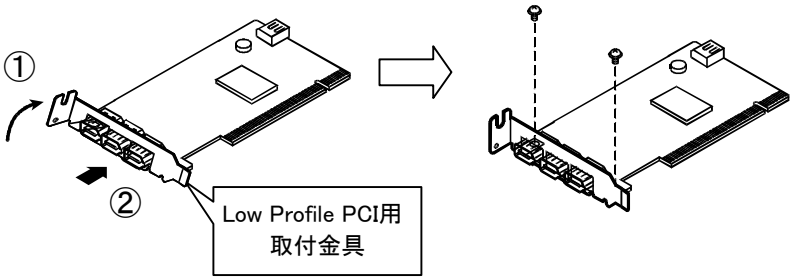
本製品をLow Profile PCI 搭載パソコンに取り付ける場合は、パソコンに取り付ける前に、本製品の金具を添付の「Low Profile PCI 用取付金具」に交換する必要があります。

※ お使いのパソコンが、Low Profile PCI 搭載かどうかについては、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

1. 本ボードの取り付け金具を取り外します。
   プラスドライバを使ってネジを取り外し、一度、金具を下向きに斜めにしてから、取り外します。
   ※ 取り外した金具は大切に保管してください。



2. 添付の「Low Profile PCI 用取付金具」を上向きに斜めにして金具をボードに引っ掛け、奥まで取り付けてネジ止めしてください。

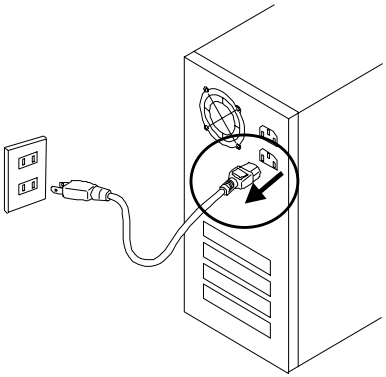


3. 取り付け後、次ページへお進みください。

ボードをパソコンに取り付ける

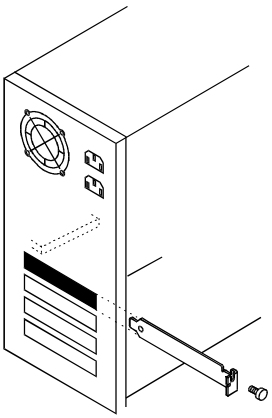
本製品パソコンに取り付けます。

1 **パソコンの電源スイッチを切り、パソコン本体の電源ケーブルを取り外します。**



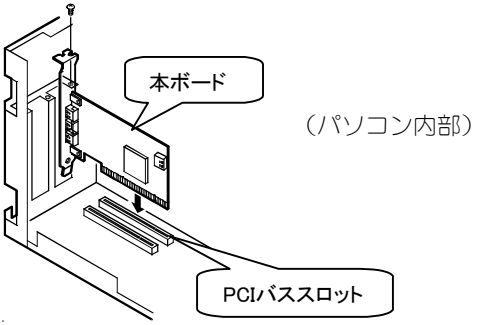
2 **パソコンのカバーを取り外します。**

3 **空いているPCIバススロットのスロットカバーを取り外します。**



4 PCIバススロットに本ボードを取り付けます。

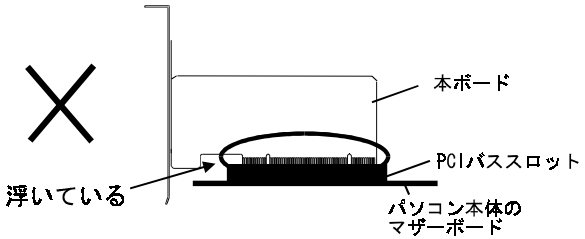
本ボードがPCIバススロットに確実に装着されることを確認しながら押し込みます。
差し込みが若干固い場合には、スロットに向かって上から垂直に押すような形で力を入れ、取り付けてみてください。



注意

・ご使用のパソコンによっては、本ボードの部品面を上に向けて差し込む場合や本ボードを垂直に差し込む場合などがあります。
詳細はパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。
・ボードのメッキ部分がPCIバススロットからはみだしたり、斜めにささらないように確認してください。本製品、パソコン本体が故障する恐れがあります。

PCIバススロットの奥まで挿入されていない例



5 **スロットカバー用のネジを取り付けます。**

ボードがPCIバススロットに確実に固定されるように取り付けます。

6 **手順1、2で取り外したパソコンのカバーやパソコン本体の電源ケーブルを元に戻します。**

この後、以下へお進みください。

・Windows XP/2000/Meの場合は31ページ【本ボードが正常に認識されているかを確認する】を参照してください。
・Windows 98 SEの場合は次ページ【インストールする（Windows 98 SEのみ）】を参照してください。

インストールする (Windows 98 SEのみ)

Windows XP/2000/Meの場合は31ページ【本ボードが正常に認識されているかを確認する】へお進みください。

ここでは、Windows 98 SEで本ボードを使用する場合のインストールについて説明します。
Windows XP/2000/Meの場合は、自動的にインストールされますので、インストール作業を行う必要はありません。31ページ【本ボードが正常に認識されているかを確認する】へお進みください。

インストール前のポイント

①「Windows 98 SE」の CD-ROM をご用意ください。
インストール時に「Windows 98 SE」CD-ROM が必要な場合があります。
②本ボードが正しく取り付けられているかを確認してください。
③1394機器はまだ接続しないでください。

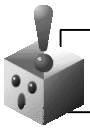
ここではまだ本ボードにDVカメラ、ストレージ機器等の1394機器は接続しないでください。

※ 機器を接続したまま、パソコンの電源を入れた場合は正常にインストールできない場合があります。
1394機器を接続したままパソコンの電源を入れた場合は、次ページの手順**2**で［キャンセル］ボタンをクリックし、Windows 98 SEを終了後、機器を取り外し、再度パソコンを起動してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 98 SEを起動します。

2 以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

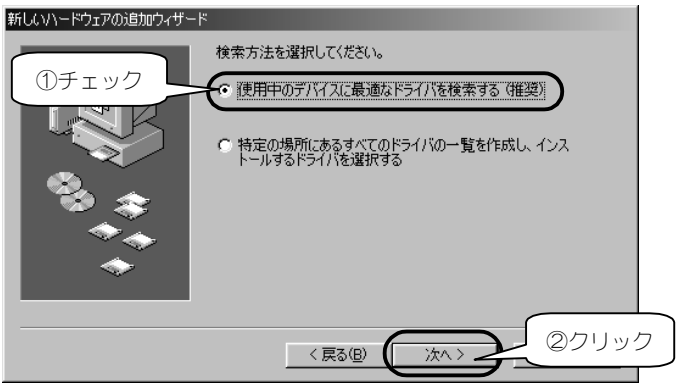
[PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]と表示されていることを確認してください。



このインストール画面が表示されない場合は…

「インストール画面が表示されない」(71 ページ)をご参照ください。

3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

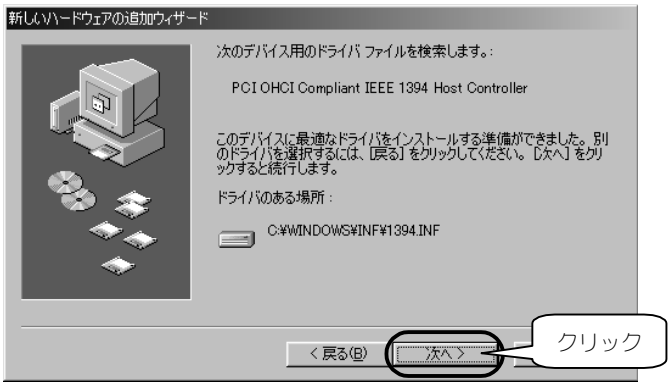


4 すべてのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

※ 選択肢のチェックを入れる必要はありません。選択されている場合はすべてのチェックを外してください。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。



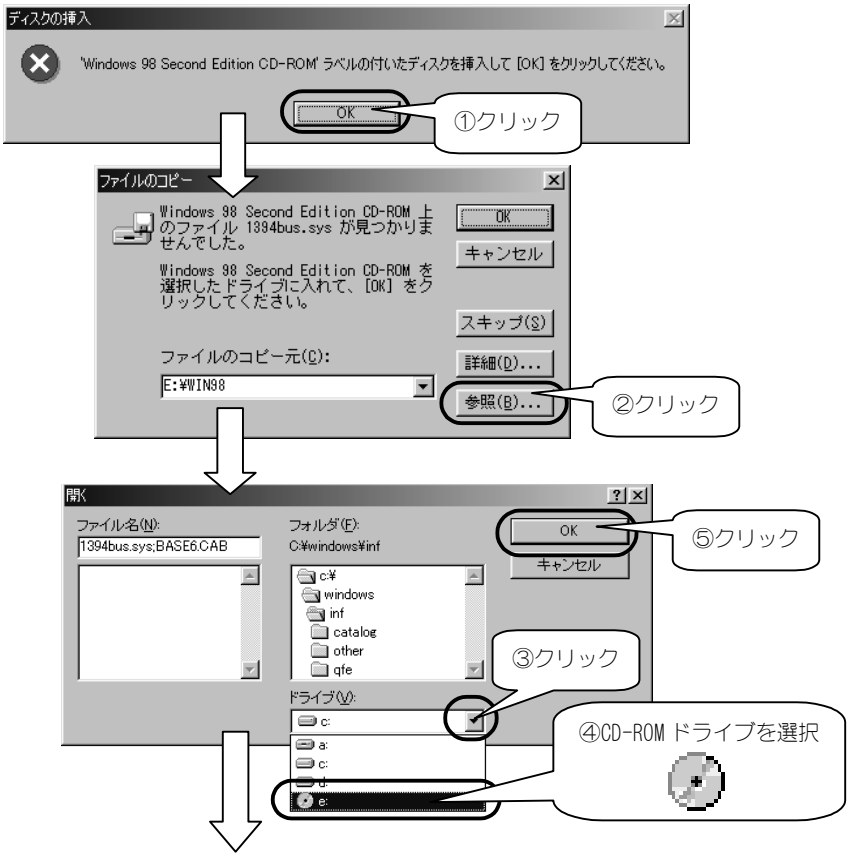
6 ［ディスクの挿入］画面が表示される場合があります。

表示されない場合 ⇒ そのまま手順7(25ページ)へお進みください。

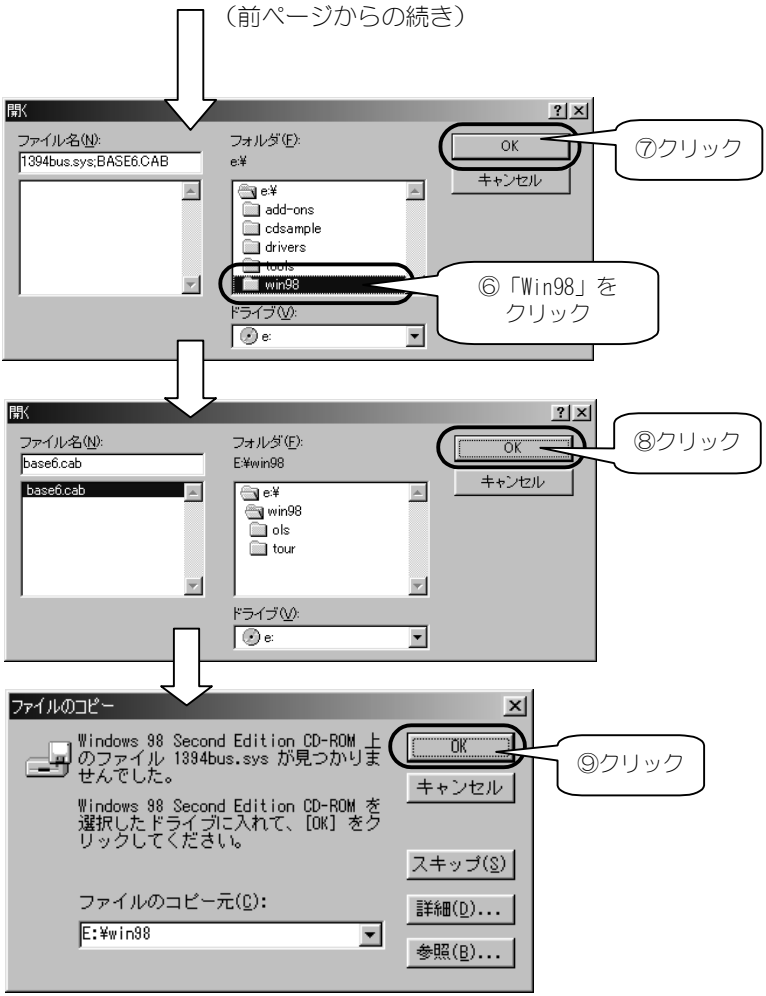
表示された場合

⇒ 「Windows 98 SE」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、［OK］ボタンをクリックします。

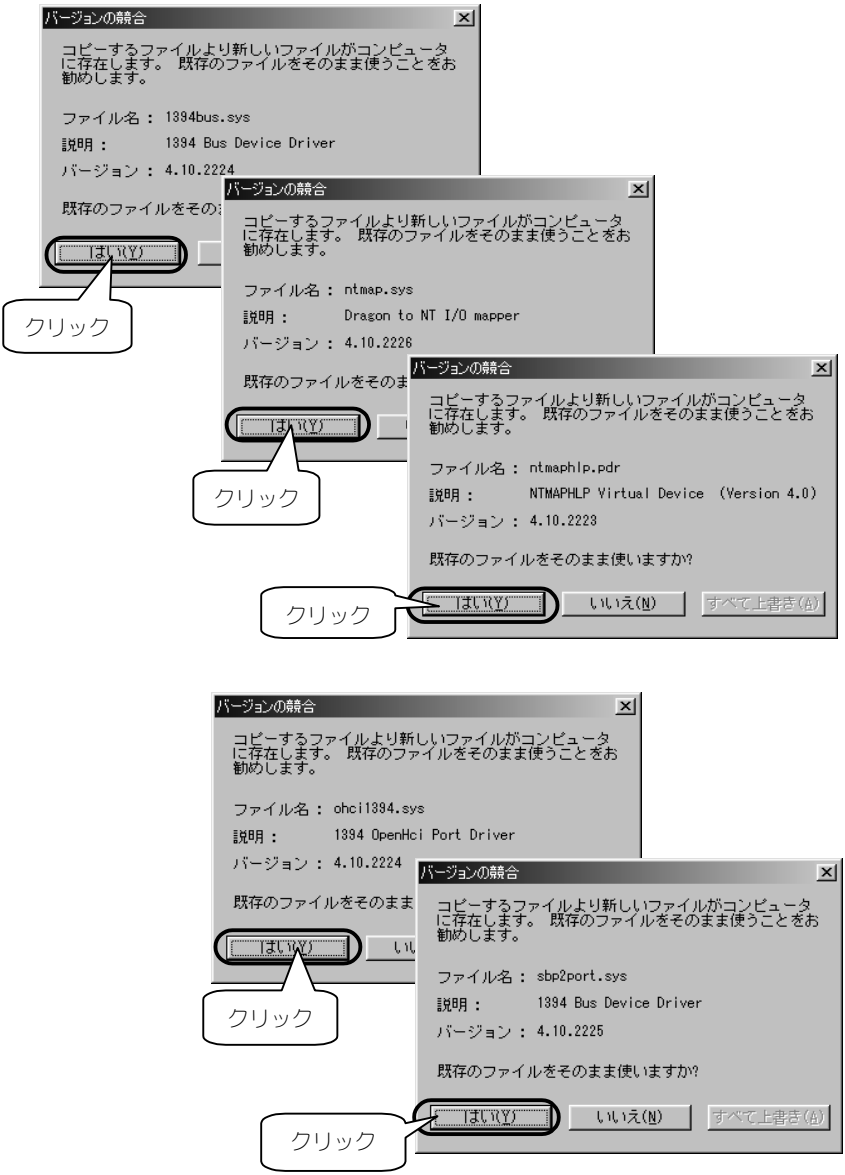
［ファイルのコピー］画面で、［参照］ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブ（ここではE：）内の［Win98］を指定します。指定後、［OK］ボタンをクリックします。



（次ページへ）


（前ページからの続き）
開く
ファイル名(N):
1394bus.sys;BASE6.CAB
フォルダ(F):
e:¥
OK
キャンセル
⑦クリック
e:¥
add-ons
cdsample
drivers
tools
win98
⑥「Win98」をクリック
ドライブ(V):
e:
開く
ファイル名(N):
base6.cab
フォルダ(F):
E:¥win98
OK
キャンセル
⑧クリック
base6.cab
e:¥
win98
ols
tour
ドライブ(V):
e:
ファイルのコピー
Windows 98 Second Edition CD-ROM 上のファイル 1394bus.sys が見つかりませんでした。
Windows 98 Second Edition CD-ROM を選択したドライブに入れて、[OK] をクリックしてください。
OK
キャンセル
⑨クリック
スキップ(S)
詳細(D)...
参照(B)...
ファイルのコピー元(C):
E:¥win98

7 以下の［バージョンの競合］画面が表示された場合は、すべて［はい］ボタンをクリックします。



8 ［完了］ボタンをクリックします。

9 手順6で「Windows 98 SE」CD-ROMを使用した場合は、CD-ROMを取り出します。

以上で、インストールは終了です。
次にWindows 98 SE自体をアップデートします。次ページへお進みください。

参考

インストールが正常に終了すると、次回からはそのまま使用できます。
（次回から21ページの手順2以降のインストール画面は表示されません。）

Windows 98 SE自体をアップデートする
(Windows 98 SEのみ)

Windows XP/2000/Meの場合は31ページ【本ボードが正常に認識されているかを確認する】へお進みください。

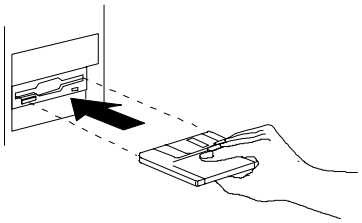
Windows 98 SEをお使いの場合は、Windows 98 SE自体をさらにアップデートする必要があります。
アップデートは添付の「1394-PCIシリーズサポートソフト」で行います。
※ このソフトウェアは、Windows 98をWindows 98 SEにアップデートするソフトウェアではありません。Windows 98をお使いの場合は、必ず、Windows 98 SEにアップグレードした後で、本ソフトウェアをご使用ください。

注意

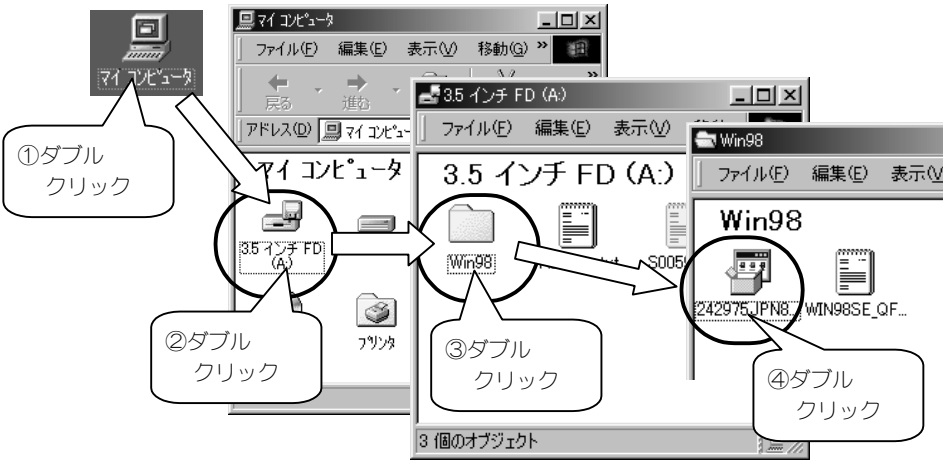
ここではまだ本ボードにDVカメラ、ストレージ機器等の1394機器は接続しないでください。

1 **Windows 98 SEを起動します。**

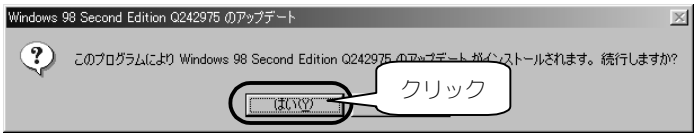
2 **「サポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



3 **[マイコンピュータ] → [3.5インチFD] → [Win98] → [242975JPN8] を順にダブルクリックします。**

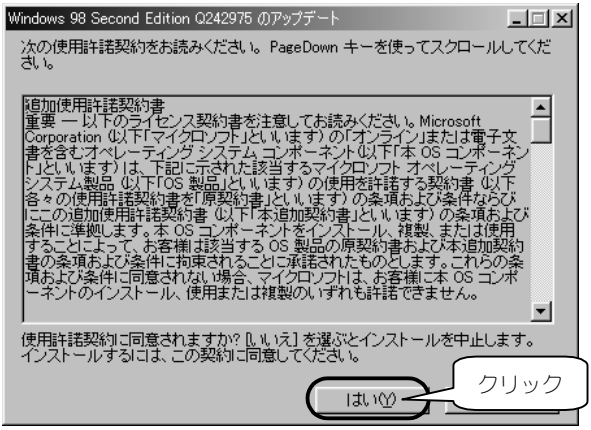


4 **[はい] ボタンをクリックします。**



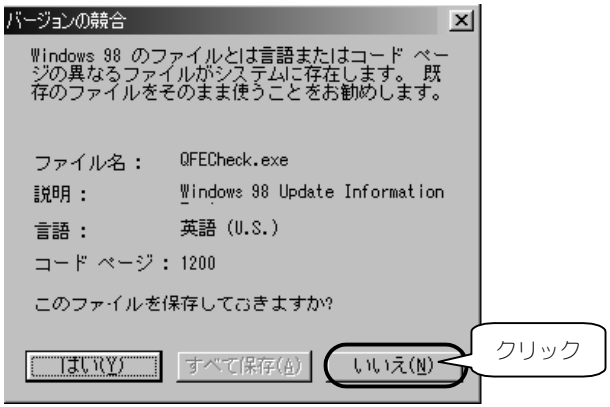
5 内容に同意するなら、［はい］ボタンをクリックします。

使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。

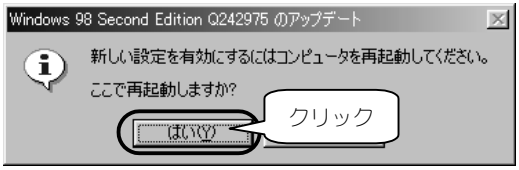

Windows 98 Second Edition Q242975 のアップデート
次の使用許諾契約をお読みください。PageDown キーを使ってスクロールしてください。
追加使用許諾契約書
重要 ― 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。Microsoft Corporation (以下「マイクロソフト」といいます) の「オンライン」または電子文書を含むオペレーティング システム コンポーネント (以下「本 OS コンポーネント」といいます) は、下記に示された該当するマイクロソフト オペレーティング システム製品 (以下「OS 製品」といいます) の使用を許諾する契約書 (以下「各々の使用許諾契約書」「原契約書」といいます) の条項および条件ならびにこの追加使用許諾契約書 (以下「本追加契約書」といいます) の条項および条件に準拠します。本 OS コンポーネントをインストール、複製、または使用することによって、お客様は該当する OS 製品の原契約書および本追加契約書の条項および条件に拘束されることに承諾されたものとします。これらの条項および条件に同意されない場合、マイクロソフトは、お客様に本 OS コンポーネントのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。
使用許諾契約に同意されますか? [いいえ] を選ぶとインストールを中止します。インストールするには、この契約に同意してください。
はい(Y)
クリック

このアップデートを行うと、元に戻すことはできません。内容をしっかりとご覧ください。

6 以下の画面が表示された場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。



7 ［はい］ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

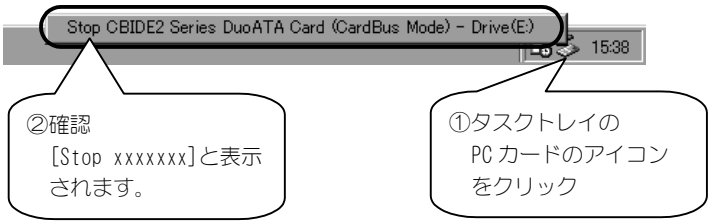


以上でWindows 98 SEのアップデートは終了です。

参考

お使いのパソコンでPCカードをご利用になられる場合、このアップデートを行うと、PCカード取り外し時のメッセージが以下のようになります。

タスクトレイのPCカードアイコンをクリックすると、以下のように［Stop XXXXXXXX（PCカード名とドライブ文字が入ります）］の表示となります。
取り外しは、［Stop XXXXXXXX］をクリックすれば取り外せます。



本ボードが正常に認識されているかを確認する

本ボードが正常にパソコンに認識されているか（正常にインストールされたか）を確認してみましょう。

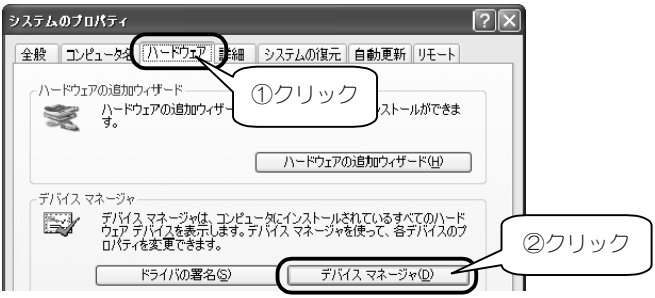
・Windows XP/2000の場合は以下を参照してください。
・Windows Meの場合は33ページを参照してください。
・Windows 98 SEの場合は35ページを参照してください。

Windows XP/2000の場合

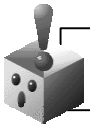
1 **［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示される[プロパティ]をクリックします。**

Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックして表示される[プロパティ]をクリックします。

2 **［ハードウェア］タブ、続けて［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



3 [1394バスホストコントローラ] をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller] が登録（表示）されていることを確認します。



［1394 バスホストコントローラ］が見当たらない場合は…

「［1394 バスホストコントローラ］の表示がない」(71 ページ)をご参照ください。

4 [VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller] の頭に［！］マークや［×］マークがないことも確認します。

頭に［！］マークや［×］マークがあった場合は…

「［PCI OHCI Compliant・・・］（または・・・」(72 ページ)をご参照ください。

インストールが正常ならば

1394-PCI3/DV6をお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」をインストールします。38、39ページをご参照ください。

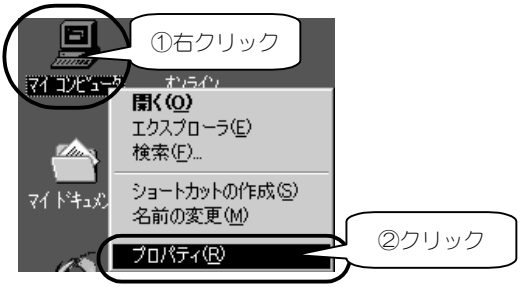
1394-PCI3をお使いの場合

この後、お持ちのストレージ機器を接続します。

【ストレージ機器を使う】(55ページ)へお進みください。

Windows Meの場合

1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**



2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［1394 バスコントローラ］をダブルクリックします。

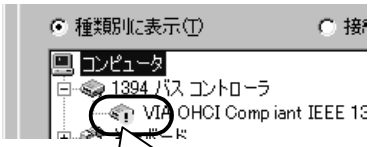
［1394 バスコントローラ］が見当たらない場合は…

「[1394 バスコントローラ]の表示がない」(71 ページ)をご参照ください。

3 ［VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］が登録（表示）されていることを確認します。

4 ［VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］の頭に［！］マークや［×］マークがないことも確認します。

頭に［！］マークや［×］マークがあった場合は…



「[PCI OHCI Compliant・・・]（または・・・」(72 ページ)をご参照ください。

インストールが正常ならば

1394-PCI3/DV6をお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」をインストールします。38、39ページをご参照ください。

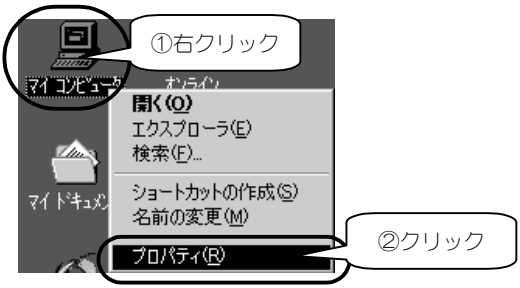
1394-PCI3をお使いの場合

この後、お持ちのストレージ機器を接続します。

【ストレージ機器を使う】(55ページ)へお進みください。

Windows 98 SEの場合

1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。**



2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［1394 バスコントローラ］をダブルクリックします。

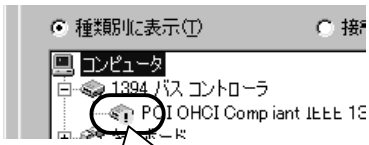
［1394 バスコントローラ］が見当たらない場合は…

「［1394 バスコントローラ］の表示がない」(71 ページ)をご参照ください。

3 ［PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］が登録（表示）されていることを確認します。

4 ［PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］の頭に［！］マークや［×］マークがないことも確認します。

頭に［！］マークや［×］マークがあった場合は…



「［PCI OHCI Compliant・・・］（または・・・」(72 ページ)をご参照ください。

インストールが正常ならば

1394-PCI3/DV6をお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」をインストールします。38、39ページをご参照ください。

1394-PCI3をお使いの場合

この後、お持ちのストレージ機器を接続します。

【ストレージ機器を使う】(55ページ)へお進みください。

「VideoStudio」「PhotoImpact」をインストールする（1394-PCI3/DV6のみ）

1394-PCI3/DV6には、DV機器のテープなどのメディアの映像をディスプレイ上に再生したり、編集した映像を録画するためのソフトウェア「Ulead VideoStudio 6 SE」を添付しています。

※ 「Ulead VideoStudio 6 SE」、「Ulead PhotoImpact 7 SE」は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ 1394-PCI3には添付されておりません。

※ OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。

・GIFに対応していません。

・サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。

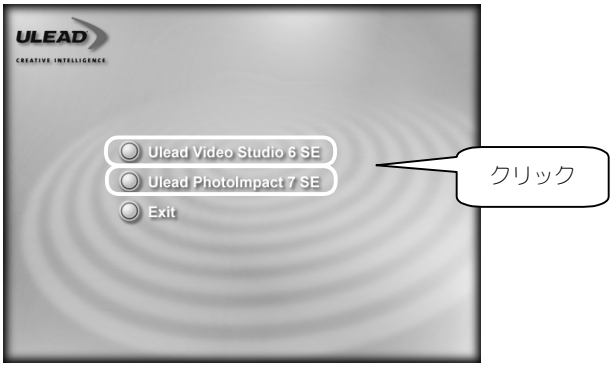
・取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。

ここでは、「Ulead VideoStudio 6 SE」、および「Ulead PhotoImpact 7 SE」のインストール方法について説明します。

1 **「Ulead VideoStudio 6」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **以下のメニュー画面が表示されます。**
[Ulead VideoStudio 6 SE]もしくは
[Ulead PhotoImpact 7 SE]をクリックします。

インストールしたいものをクリックしてください。



後は画面の指示に従ってください。

詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF）」を参照してください。

インストール後、次ページ【「COOL 3D」をインストールする】へお進みください。

「COOL 3D」をインストールする

（1394-PCI3/DV6のみ）

1394-PCI3/DV6には、表現力のある強力な3Dタイトルを作成するための高性能3Dタイトルアニメータソフトウェア「Ulead COOL 3D 3 SE」を添付しています。

※「Ulead COOL 3D 3 SE」は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ 1394-PCI3には添付されておりません。

ここでは、「Ulead COOL 3D 3 SE」のインストール方法について説明します。

1 **「Ulead COOL 3D」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **メニュー画面が表示されます。**
[Ulead COOL 3D Ver.3.0体験版のインストール]をクリックします。

後は画面の指示に従ってください。

詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF ）を参照してください。

インストール後、【DV機器を使う】(41ページ)へお進みください。

MEMO

DV機器を使う

基本操作 …… 42

DV機器の接続および取り外しについての基本操作について説明します。

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する（Windows Me/98 SEのみ） …… 43

Windows Me/98 SEでの内蔵ハードディスクのDMA設定について確認します。

DV機器を接続する …… 46

DV機器を接続します。

DV機器が正しく接続されているかを確認する …… 49

DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

DV機器をWindows上から操作する …… 53

DV機器をWindows上から操作します。

DV機器を取り外す場合 …… 54

接続したDV機器を、パソコンから取り外す場合について説明します。

基本操作

ここでは、本ボードにDV機器を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

DV機器を本ボードに接続/取り外す場合

DV機器は、1394対応のケーブルで本ボードに接続します。
パソコンの電源が入っている状態でも接続できます。
※ コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。

DV機器に関する注意事項

DV機器の接続、取り外しおよび使用方法については、DV機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、DV機器の故障、データの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- ●DV機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。
  DV機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、DV機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
- ●DV機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
- ●DV機器を含む複数の1394機器を本ボードに接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
  また、DV機器を含む1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※ DV機器を含む1394機器が正常に動かない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する（Windows Me/98 SEのみ）

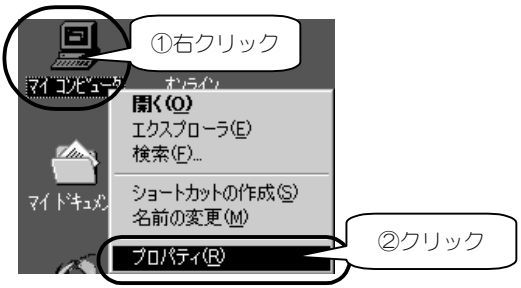
Windows XP/2000の場合は46ページ【DV機器を接続する】へお進みください。

Windows MeおよびWindows 98 SEをお使いの場合で、内蔵ハードディスクに動画（AVI）ファイルを取り込む場合には、ハードディスクにDMAの設定がされていないとコマ落ちが発生する場合があります。
以下の手順で、DMAの設定がされているか確認・設定してください。
※ 設定できない場合もあります。

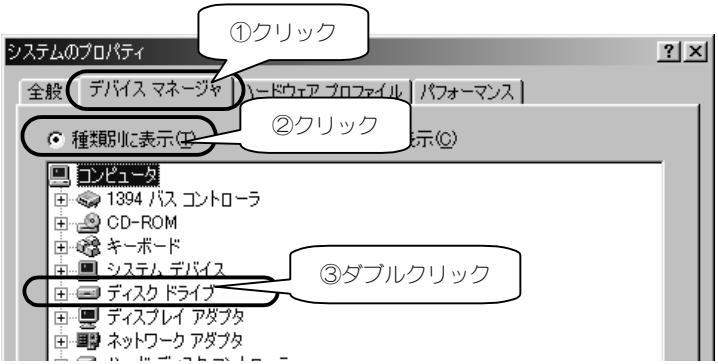
注意

- DMAの設定が必要なのは、パソコン本体（のIDE端子）に接続された内蔵ハードディスクだけです。それ以外の場合は特に設定の必要はありません。
- 内蔵ハードディスクの性能によっては、動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
  できる限り、高速なハードディスクをご利用になることをおすすめします。
- Windows XP/2000では、DMAを使用可能な場合、自動的に設定されますので、設定の必要はありません。

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

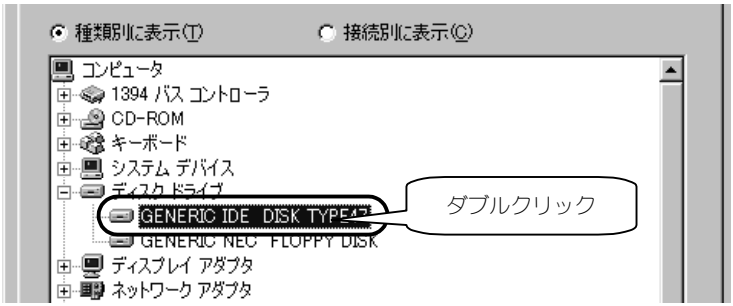


2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［ディスクドライブ］をダブルクリックします。**

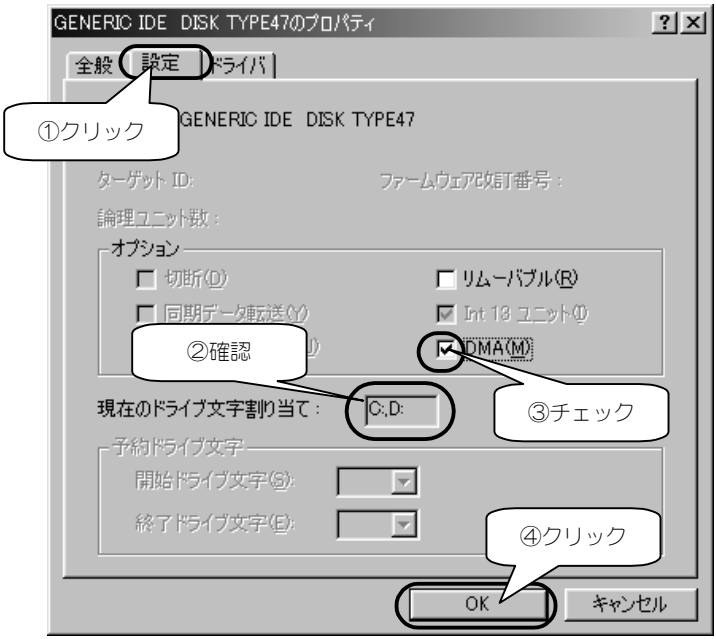


3 **［GENERIC IDE DISK･･･］をダブルクリックします。**

複数の［GENERIC IDE DISK…］が表示されている場合は、上から順にダブルクリックしてください。



4 **［設定］タブをクリックします。**
［現在のドライブ文字割り当て］でファイルを保存するドライブ名であることを確認します。
確認後、［オプション］の［DMA］のチェックが入っていることを確認します。
チェックされていない場合はチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



注意

パソコンの取扱説明書に以下のような記述がある場合は、DMAはチェックしないでください。（その場合、コマ落ちが発生する場合があります。）

1.「ハードディスクはPIOモードで転送する」
2.「ハードディスクでDMA転送をしない」

DV機器を接続する

本ボードにDV機器を接続してみましょう。

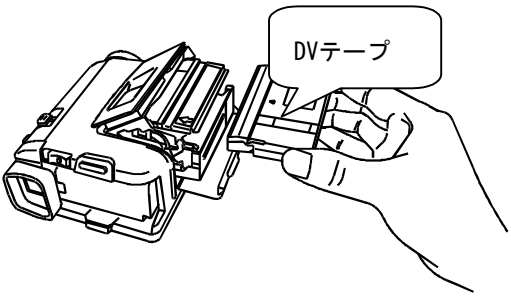
1 **DV機器の電源が入っていることを確認してください。**

※ DV機器が［ビデオ(再生)モード］になっていることも確認してください。

注意

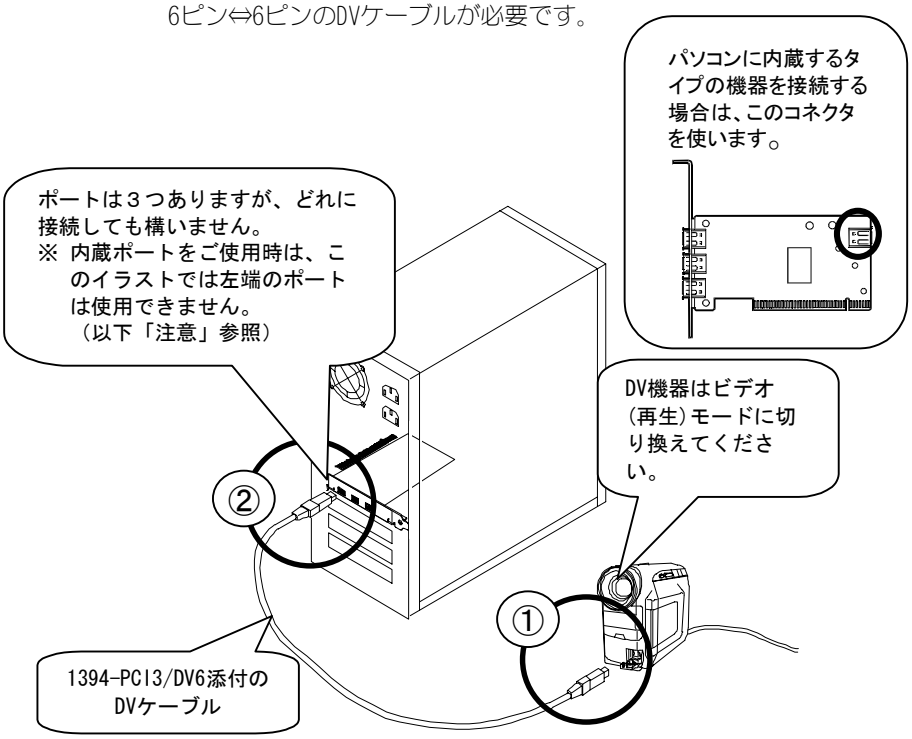
DV機器の操作方法については、各DV機器メーカーへお問い合わせください。

2 **DV機器に録画済みのDVテープなどのメディアを挿入ます。**



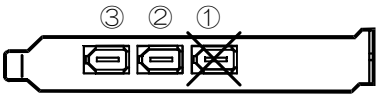
3 DV機器にある4ピンタイプのDV(i.LINK)端子と本ボードを、DVケーブル(6ピン⇔4ピン：1394-PCI3/DV6のみ添付)で接続します。

※ 6ピンタイプのDV機器と接続する場合は、機器に付属または市販の6ピン⇔6ピンのDVケーブルが必要です。



注意

内蔵1394ポートに機器を接続しているときは、以下のイラストでは右端の外部ポート（①）はご使用いただけません。



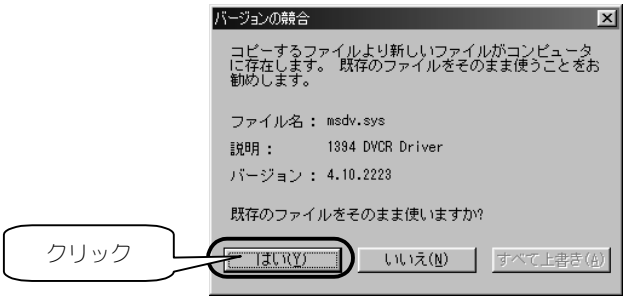
接続時のポイント

①DV 機器の電源を入れてから、本ボードに接続します。
②パソコンの電源が入っている状態で、DV 機器を接続できます。

4 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したDV機器を自動認識します。

注意

Windows 98 SEで以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。



DV機器が正しく接続されているか を確認する

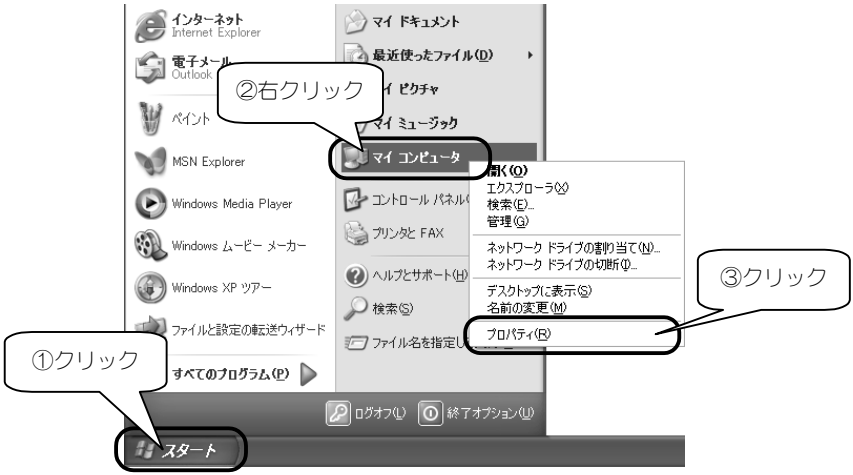
ここでは、DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

・Windows XP/2000の場合は以下を参照してください。
・Windows Me/98 SEの場合は51ページを参照してください。

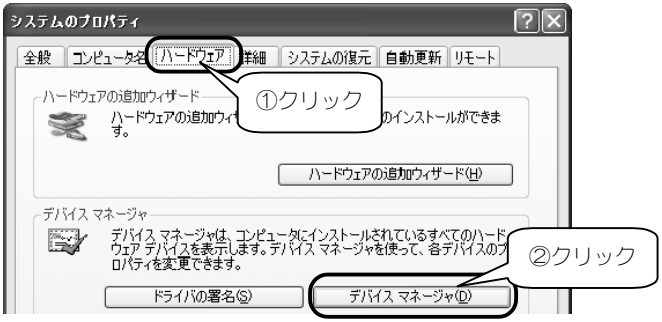
Windows XP/2000の場合

1 **［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示される[プロパティ]をクリックします。**

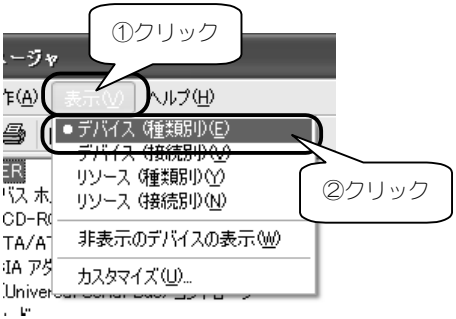
Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックして表示される[プロパティ]をクリックします。



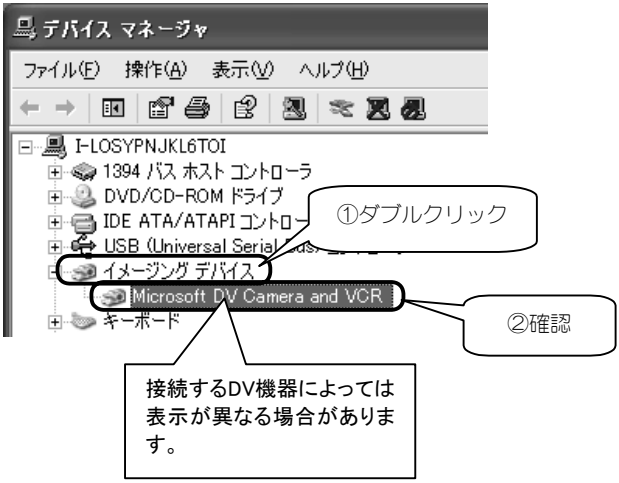
2 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



3 **［表示］メニュー内の［デバイス（種類別）］をクリックします。**



4 **［イメージングデバイス］をダブルクリックし、［Microsoft DV Camera and VCR］が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**



［イメージングデバイス］が見当たらない場合は…

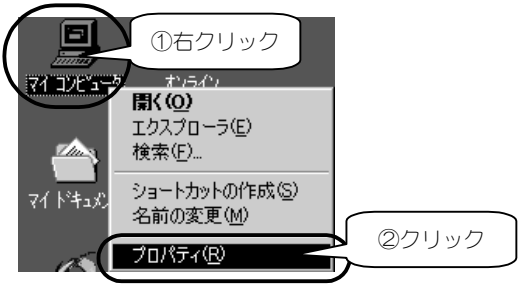
「［イメージングデバイス］の表示がない」（71 ページ）をご参照ください。

5 ［デバイスマネージャ］を閉じます。

以上で、Windows XP/2000でのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、53ページ【DV機器をWindows上から操作する】を参照してください。

Windows Me/98 SEの場合

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



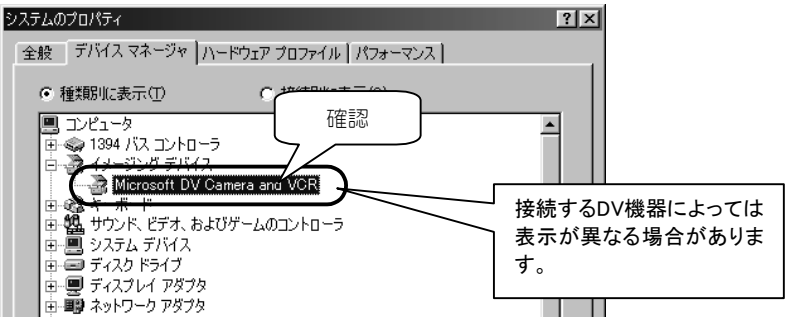
2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［イメージングデバイス］をダブルクリックします。

［イメージングデバイス］が見当たらない場合は…

「［イメージングデバイス］の表示がない」(71 ページ)をご参照ください。

3 **[Microsoft DV Camera and VCR] ※が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**

※ Windows Meの場合、接続するDV機器によっては表示が異なる場合があります。



以上で、Windows Me/98 SEでのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、次ページ【DV機器をWindows上から操作する】を参照してください。

DV機器をWindows上から操作する

それでは、DV機器をWindows上から操作してみましょう。
Windows上からの操作は、添付の「VideoStudio」等のアプリケーションソフトで行います。

※ 「VideoStudio」をお使いの場合には、使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF）を参照してください。

※ 「COOL 3D」をお使いの場合には、使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF）を参照してください。

注意

・DV機器の操作中は、ケーブルの抜き挿しを行わないでください。
・「VideoStudio」を使用する際は、ディスプレイの省電力設定、スクリーンセーバー、OSの省電力設定を使用しないでください。（設定についてはパソコンメーカーにご確認ください。）

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号 **03-5491-5662**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ **http://www.ulead.co.jp/**
E-mail **support@ulead.co.jp**

受付時間 **平日 10:00～12:00　13:00～17:00**

DV機器を取り外す場合

DV機器を取り外す場合は、以下の手順にて取り外してください。

1 本ボードに接続しているケーブルから取り外します。

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
・DV機器が動作していないこと（再生などを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・DV機器を操作するアプリケーション（添付の「VideoStudio」など）を終了してから取り外してください。
・DV機器を含む複数の1394機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

参考

DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

2 ケーブル取り外し後、DV機器の電源を切ります。

ストレージ機器を使う
（ハードディスクやMOドライブ等を接続する）

基本操作 …… 56

ストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）
の接続および取り外しの基本操作について説明します。

ストレージ機器を接続する …… 57

ストレージ機器を接続します。

ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する …… 60

ストレージ機器が正しく接続されているかを
Windows上から確認します。

ストレージ機器を取り外す場合 …… 66

ストレージ機器を取り外す場合について説明します。

基本操作

ここでは、本ボードに1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

機器を本ボードに接続/取り外す場合

ストレージ機器は、1394対応のケーブルで本ボードに接続します。
パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。
※ コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。
※ Windows使用中に取り外す場合は、66ページ【ストレージ機器を取り外す場合】の手順で取り外してください。

1394対応のストレージ機器に関する注意事項

ストレージ機器の接続、取り外しおよび使用方法については、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は、ストレージ機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- ●ストレージ機器は、電源を入れてから本ボードに接続してください。
  ストレージ機器の電源を切った状態で本ボードに接続すると、機器が認識されないなどの現象が発生し、正常に動作しません。
- ●ストレージ機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
- ●ストレージ機器を含む複数の1394機器を本ボードに接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
  また、1394機器の動作中に他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※ ストレージ機器を含む1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源を入れ直し、1394機器の電源を入れた状態で再度接続してください。また、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

ストレージ機器を接続する

本ボードに1394対応のハードディスクやMOドライブなどのストレージ機器を接続してみましょう。

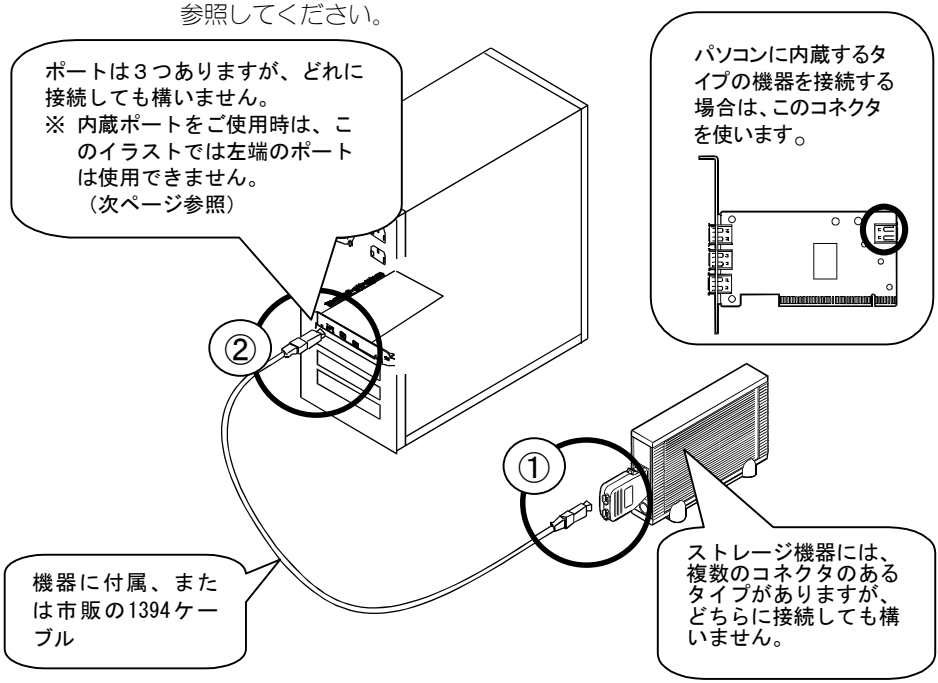
1 お使いのストレージ機器の電源を入れてください。

注意

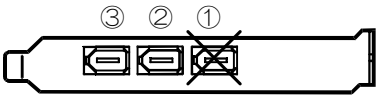
ストレージ機器の操作については、各機器メーカーへお問い合わせください。

2 機器にある1394(i.LINK)端子と本ボードを、1394ケーブルで接続します。

※ ケーブルは機器付属のもの、あるいは市販のケーブル（6ピン⇔6ピン）をご使用ください。
ストレージ機器との接続の詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。



内蔵1394ポートに機器を接続しているときは、以下のイラストでは右端の外部ポート（①）はご使用いただけません。



接続時のポイント

①ストレージ機器の電源を入れてから、本ボードに接続します。
②パソコンの電源が入っている状態で、ストレージ機器を接続できます。

本製品から機器に電源を供給する場合、機器すべての消費電力が6Wを超えないようにしてください。超える場合は、機器に直接ACアダプタなどで給電するようにしてください。

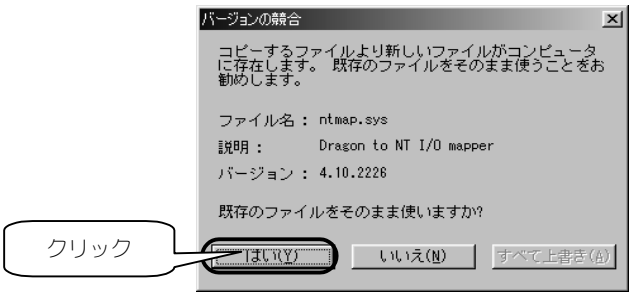
3 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したストレージ機器を自動認識します。

注意

・本ボードに２台以上の機器を接続する場合には、注意が必要です。
詳細は、77ページ【本ボードに２台以上の機器を接続する場合】を参照してください。
・本ボードに接続したストレージ機器からパソコンを起動させることはできません。

注意

Windows 98 SEで以下の画面が表示された場合は、すべて［はい］ボタンをクリックしてください。



ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

・Windows XP/2000の場合は以下を参照してください。
・Windows Me/98 SEの場合は62ページを参照してください。

注意

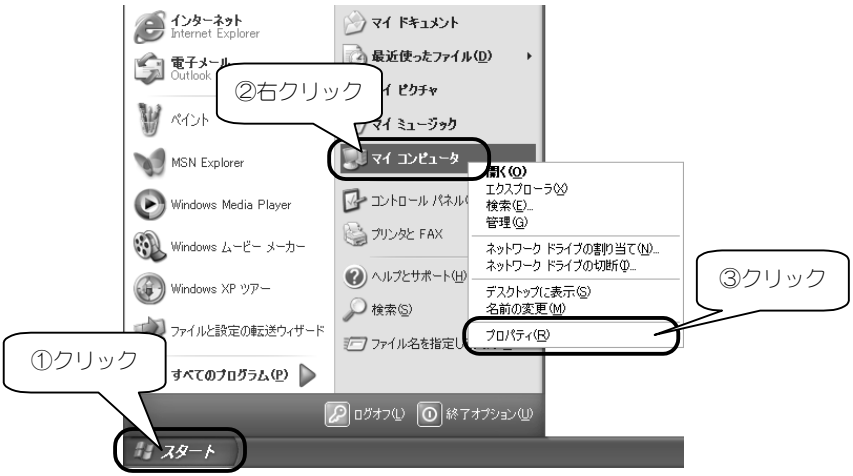
・確認は以下の手順のように［デバイスマネージャ］画面で確認できますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。
・本取扱説明書には、ストレージ機器のフォーマット方法は記載されておりません。フォーマットが必要な機器については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。

Windows XP/2000の場合

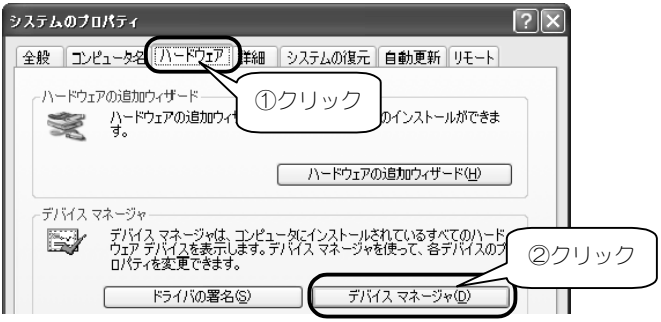
接続の確認は［デバイスマネージャ］画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。
ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 ［スタート］をクリックし、［マイコンピュータ］を右クリックして表示される［プロパティ］をクリックします。

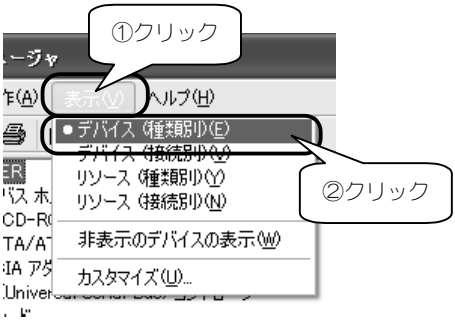
Windows 2000の場合は、［マイコンピュータ］を右クリックして表示される［プロパティ］をクリックします。



2 **［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



3 **[表示]メニュー内の［デバイス（種類別）］をクリックします。**



4 **[ディスクドライブ]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。**

※ 表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。

参考

接続している機器の表示は、66ページ【ストレージ機器を取り外す場合】での取り外し時に表示される機器名でも確認できます。

機器の表示がない場合は…

「接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない」(74 ページ)をご参照ください。

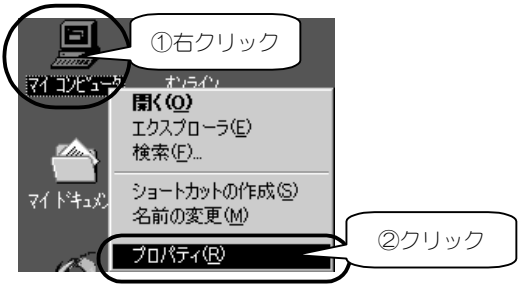
5 ［デバイスマネージャ］を閉じます。

以上で、Windows XP/2000でのストレージ機器の接続の確認は終了です。

Windows Me/98 SEの場合

接続の確認は[デバイスマネージャ]画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。
ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［SBP2］をダブルクリックし、［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］が表示されているかを確認します。

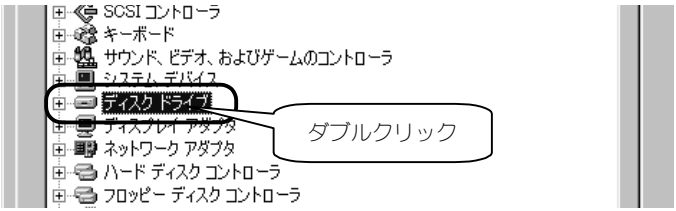
［SBP2］が見当たらない場合は…

「［SBP2］の表示がない」(72 ページ)をご参照ください。

［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］が見当たらない場合は…

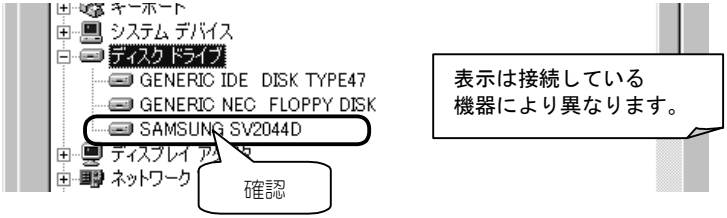
「［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］の表示がない」(72 ページ)をご参照ください。

3 ［ディスクドライブ］をダブルクリックします。



4 接続したストレージ機器が表示されているかを確認します。表示されていれば、正常に認識されています。

※ 表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。



接続している機器がわからない
場合は・・・

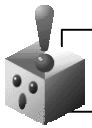
以下の手順で確認することができます。

1 **【ストレージ機器を取り外す場合】(66ページ)を参照して、一旦接続している機器を取り外します。**

2 **取り外し後、前ページの手順で再度［ディスクドライブ］の表示を確認します。**

3 **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本ボードに機器を接続します。**

4 **再度、［ディスクドライブ］の表示を確認します。**
追加されているドライブ（の表示）が、本ボードに接続した機器です。



機器の表示がない場合は…

「接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない」(74 ページ)をご参照ください。

5 ［記憶装置］をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

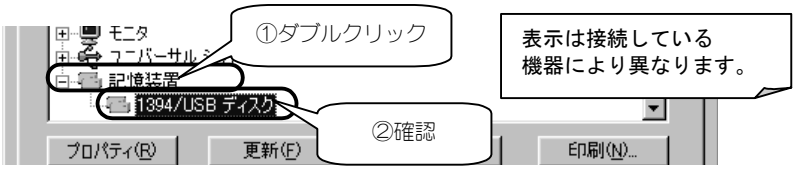
※表示については、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

・Windows Meの場合

ハードディスクの場合、［IEEE 1394 ディスク］と表示されます。
MOドライブの場合、［IEEE 1394 光ディスク］と表示されます。
CD-RW,DVDドライブの場合、［IEEE 1394 CD-ROM］と表示されます。

・Windows 98 SEの場合

ハードディスクの場合、［1394/USB ディスク］と表示されます。
MOドライブの場合、［1394/USB 光ディスク］と表示されます。
CD-RW,DVDドライブの場合、［1394/USB CD-ROM］と表示されます。



6 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で、Windows Me/98 SEでのストレージ機器の接続の確認は終了です。

ストレージ機器を取り外す場合

ストレージ機器を取り外す場合は、以下の手順（ストレージ機器の停止）を行った後で、本ボードに接続しているケーブルを取り外してください。
ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

注意

- パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
- 取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
- ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込みなどを行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
- ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
- ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
- ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

1 ストレージ機器が動作していないことを確認します。

2 タスクトレイのアイコンをクリックします。

3 以下のように表示される項目をクリックします。

Windows XPの場合、［xxxxxx を安全に取り外します］と表示されます。
Windows 2000の場合、［xxxxxxx を停止します］と表示されます。
Windows Meの場合、［IEEE 1394 xxxxxxx の停止］と表示されます。
Windows 98 SEの場合、［Stop 1394/USB xxxxxxx］と表示されます。

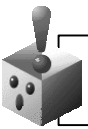
※ 'xxxxxxx'の箇所は、お使いのストレージ機器により異なります。

Windows XP での表示例

Windows 2000 での表示例

Windows Me での表示例

Windows 98 SE での表示例



１分以上待ってもメッセージが表示されない場合は…

「ストレージ機器の取り外しの際に・・・」(74 ページ)をご参照ください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

［取り外しができません」と表示された場合は…

「ストレージ機器の取り外しの際に・・・」(74 ページ)をご参照ください。

5 **ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。**

以上で、ストレージ機器の取り外し手順は終了です。
ケーブルを取り外してください。

ふろく

正常に動作しない場合 …… 70

ドライバソフトのインストールがうまくできなかった場合や、本ボードを使用中に異常があったときにご覧ください。

本ボードに２台以上の機器を接続する場合 …… 77

本ボードに２台以上の機器を接続する場合について説明します。

用語解説 …… 81

本ボードに関連する用語について説明します。

仕様 …… 82

本ボードの仕様の一覧です。

正常に動作しない場合(もくじ)

本ボードを使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポートライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新サポートソフト

状態	参照ページ
インストール画面が表示されない (Windows 98 SEの場合)	71ページ
・［1394バスホストコントローラ］の表示がない (Windows XP/2000の場合) ・［1394バスコントローラ］の表示がない (Windows Me/98 SEの場合)	
［イメージングデバイス］の表示がない (Windows 98 SEの場合)	
［イメージングデバイス］の表示がない	
［SBP2］の表示がない (Windows Me/98 SEの場合)	72ページ
［SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス］の表示がない (Windows 98 SEの場合)	
［PCI OHCI Complient…］（または［VIA OHCI Complient…］）の頭に［！］マークや［×］マークがある	
接続したストレージ機器が［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］に表示されない	74ページ
・ストレージ機器の取り外しの際に、［取り外しができません］と表示される ・ストレージ機器の取り外しの際に、１分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	
本製品添付のアプリケーション以外のアプリケーションが、正常に動作しない	
Windowsを終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう (Windows 98 SEの場合)	75ページ

正常に動作しない場合(内容)

インストール画面が表示されない (Windows 98 SE の場合)

原因 すでにインストール済みである

対処 本ボードのインストールが正常に終了していると、次回からインストール画面は表示されません。

原因 本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない

対処 1 確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2 本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない (Windows XP/2000 の場合)
・[1394 バスコントローラ]の表示がない (Windows Me/98 SE の場合)

原因 単に表示されていないだけの場合があります

対処 パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因 本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない

対処 1 確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2 本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

[イメージングデバイス]の表示がない (Windows 98 SE の場合)

原因 Windows 98をお使いの場合で、OSがWindows 98 SEではない

対処 6ページの確認方法でOSがWindows 98 SEかをご確認ください。

[イメージングデバイス]の表示がない

原因 ケーブルが正常に挿入されていない

対処 DVケーブルを一度抜き挿ししてみてください。

原因 DV機器が動作していない

対処 DV機器の電源が入っているか確認してください。

原因 本ボードが正しく動作していない

対処 本ボードを別のPCIバススロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2]の表示がない （Windows Me/98 SE の場合）

原因	ケーブルが正常に挿入されていない
対処	1394ケーブルを一度抜き挿ししてみてください。
原因	ストレージ機器が動作していない
対処	ストレージ機器の電源が入っているか確認してください。
原因	本ボードがPCIバススロットに正しく取り付けられていない
対処 1	確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
対処 2	本ボードを別のPCIバススロットに取り付け直してお試しください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない （Windows 98 SE の場合）

原因	Windows 98 SEのアップデートが行われていない
対処	【Windows 98 SE自体をアップデートする】(27ページ)を参照してアップデートしてください。

[PCI OHCI Compliant ･･･](または[VIA OHCI Compliant ･･･])の頭に[！]マークや[×]マークがある

原因	本ボードと他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合があります。その場合、正常に動作しない場合がありますので、以下の手順でリソース（主にIRQ）を変更してみてください。
対処 1	本ボードを取り付けるPCIバススロットを変更してお試しください。（取り付けるPCIバススロットを変更することでリソースが変更される場合があります。）
対処 2	使用していない機能やボードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）
対処 3	パソコン本体のBIOS設定（BIOSセットアップメニューなど）で、本ボードのリソース設定を変更してみてください。 （詳細は各パソコン本体の取扱説明書をご参照ください。） **※ 本ボードは、プラグアンドプレイ対応ボードのため、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQなど)を割り振られます。そのため、本ボード側でリソースを変更することはできません。**

（次ページへ）

対処 3

（前ページからのつづき）

参考（IRQの変更をするには？）

IRQの変更は、［デバイスマネージャ］上からは行えません。通常パソコン本体のBIOS設定から行います。
BIOSの設定方法は各メーカーにより異なりますが、PCIバススロット毎に任意のIRQを割当てられるタイプや、特定のIRQを予め予約設定にするなどというものがあります。
詳細は各マザーボード／パソコン本体の取扱説明書もご参照ください。

対処 4

以下の手順に従って、競合もしくは共有している製品側のリソースを変更します。
（本ボードのリソースは変更できません。）

1. 本ボードと競合・共有している製品がないかを確認する

Windows起動後、［デバイスマネージャ］でIRQ一覧画面を表示してください。
［PCI OHCI Compliant ……］（または［VIA OHCI Compliant ……］）と競合または共有している製品とそのリソースを確認します。
あれば以下の手順で競合もしくは共有している製品側のリソースを変更してみてください。

2. 競合・共有している製品側のリソースを変更する

① ［デバイスマネージャ］画面で競合している製品を探し、ダブルクリックします。
② ［リソース］タブをクリックします。
③ ［自動設定を使う］（または[自動設定]）のチェックを外し、競合および共有しているリソースの種類をダブルクリックし、他の競合していない値に変更します。

> パソコンの環境によってはリソースの変更(主にIRQ)ができない場合、パソコン本体(マザーボード)のBIOS設定で、PCIおよびISA/バスのIRQ割り当てを変更する必要があります。
> 詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（取り付けるPCIバススロットを変更することで、IRQが変更される場合があります。）

（次ページへ）

対処 4

（前ページからのつづき）

④ ［OK］ボタンを数回クリックして各ウィンドウを終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されるので、［はい］ボタンをクリックして、Windowsを終了します。（パソコンの電源を切ってください。）

⑤ リソースを変更した製品の設定をWindowsの設定と合わせるため、必要ならばディップスイッチまたはジャンパスイッチを変更してください。
（詳細は、設定を変更する製品の取扱説明書を参照してください。）

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因
正しく接続されていない

対処
一度パソコンの電源を切ってから、いったんストレージ機器を取り外します。
再度、ストレージ機器の電源を入れ、ケーブルを本ボードに接続し直してみてください。

・ストレージ機器の取り外しの際に、[取り外しができません]と表示される
・ストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

対処 1
使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

対処 2
Windowsを終了した後に、取り外してください。

本製品添付のアプリケーション以外のアプリケーションが、正常に動作しない

対処
まずは、本ボードが正常に認識されているかご確認ください。（【本ボードが正常に認識されているかを確認する】(31ページ)参照）
認識に問題がない場合は、本ボードの動作には問題ないと思われますので、ご使用のアプリケーションメーカーにて、サポートを受けてください。

Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう （Windows 98 SE の場合）

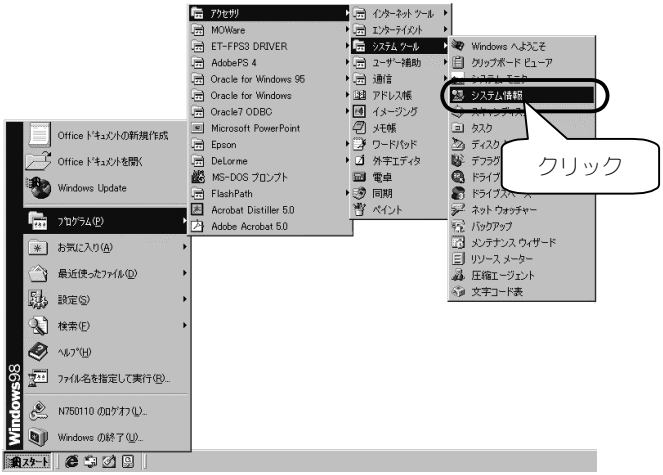
Windowsの終了を行ったにもかかわらず、「Windowsを終了しています」の表示のままで止まってしまう場合があります。その際には、下記の対処をお試しください。

対処 1

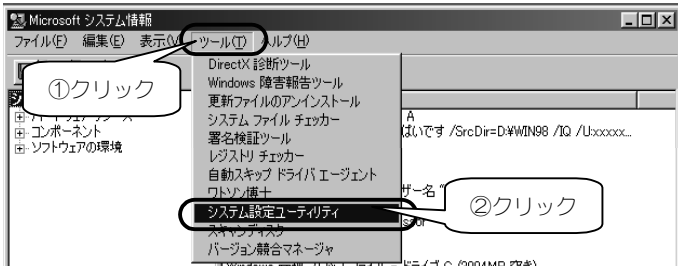
本ボードが原因であるかどうかをテストします。
パソコンの電源を切って、本ボードを取り外し、現象が改善されるかどうかを確認してください。
現象が改善された場合は、以下の対処２をお試しください。
現象が改善されない場合は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

対処 2

① ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］より［システム情報］を起動します。



② ［ツール］メニューの［システム設定ユーティリティ］をクリックします。

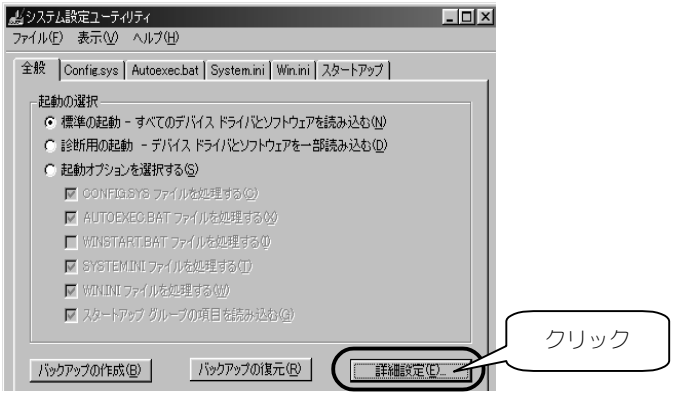


（次ページへつづく）

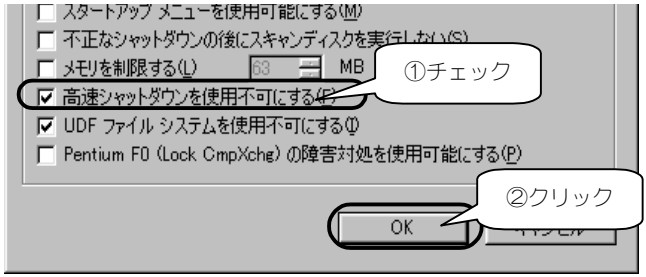
対処 2

（前ページからのつづき）

③ ［詳細設定］ボタンをクリックします。



④ ［高速シャットダウンを使用不可にする］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。



以上の設定後、現象が改善されるかご確認ください。

対処 3

以上の対処１および対処２でも現象が改善されない場合、Microsoft社より「Windows 98 SE Shutdown Supplement」が提供されております。
詳しくは下記URLを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/win98/downloads/shutdown.htm

注意！

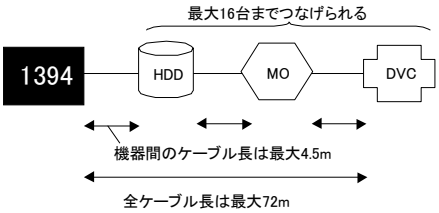
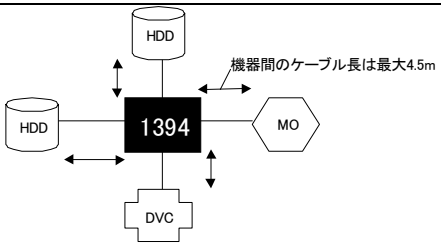
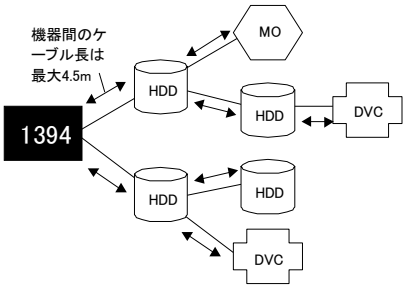
・上記URLに関する問い合わせの受け付けは弊社では行っておりません。使用上の注意をよくお読みになった上でご使用ください。
・ホームページのアドレスは予告なしに変更または、中止になる場合があります。

本ボードに２台以上の機器を接続する場合

ここでは、本ボードに2台以上の機器をつなぐ場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター（星）状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本ボードなどの1394インターフェイス

HDD ：ハードディスク

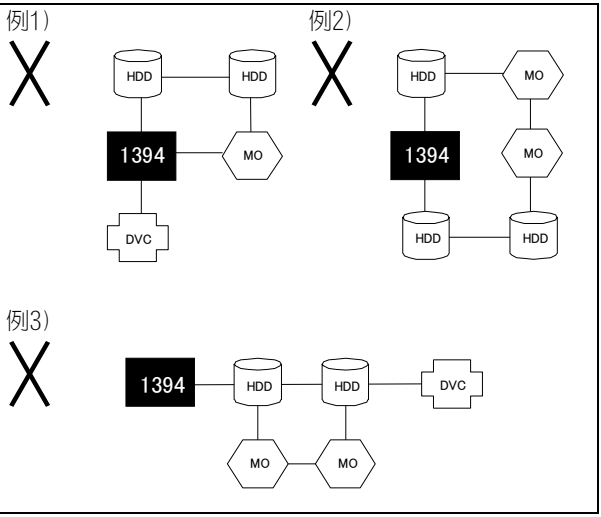
MO ：MOドライブ

DVC ：DVC（デジタルビデオカメラ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することはできません。

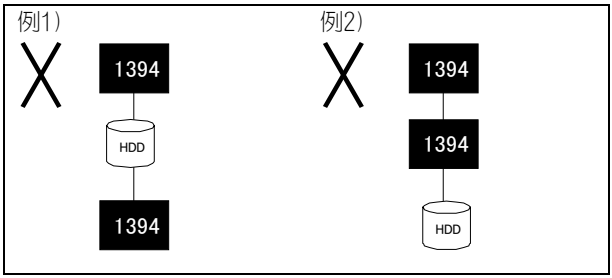
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）



②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本ボードには、最大63台の1394機器を接続できます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

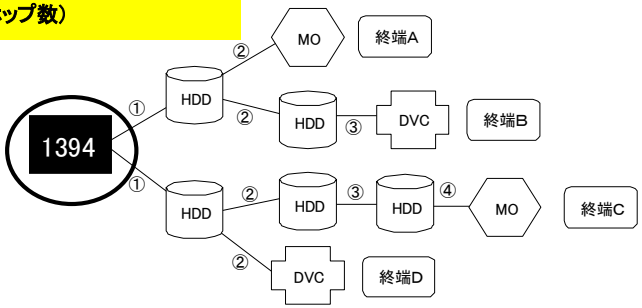
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、Windows側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスク等のドライブ機器を63台つなげてもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器がつなげられているかをカウントする場合に、使用する単位です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の１台もカウントに含めます。

本ボードから見たケーブル数（ホップ数）

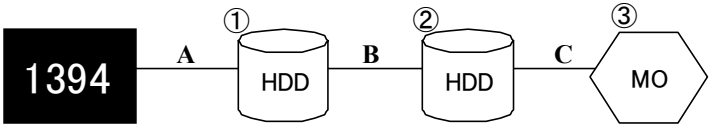


例えば、本ボードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ホップ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ホップ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。
（詳細は、66ページ【ストレージ機器を取り外す場合】を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、
1. ②と③を「停止」します。
2. ①を「停止」します。
3. **A**を取り外します。
4. **B**をIEEE 1394ポートに接続します。

③を取り外す場合は、
1. ③を「停止」します。
2. **C**を取り外します。

用語解説

DV方式

HDデジタルVCR評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格。SD仕様と高品位規格のHD仕様があり、本ボードではSD仕様に対応している。
このDV規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることも多い。

DV-SD仕様の特徴
　映像データ形式はYUV=4:1:1(NTSC)または4:2:0(PAL)で圧縮率1/5
　音声データ形式は16bit/48KHz(2ch)と12bit/32KHz(4ch)の２種類

DV端子

主に民生用のDV機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin形状のコネクタが採用されている。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
SONYがデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

i.LINK（アイ　リンク）

IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称。

仕 様

インターフェイス	IEEE 1394-1995、1394a-2000、1394-OHCI準拠
IEEE 1394端子	外部 6ピン×3ポート 内部 6ピン×1ポート
転送方式	Asynchronous※／Isochronous※
転送速度	100/200/400Mbps
IEEE 1394機器への供給電源	12V/0.5A （6W）……3ポートの合計値 *供給電源は、パソコンの電源から供給するため、6Wが確保できない場合があります。
割り込み（IRQ）	Plug & Playシステムによる自動設定(1個使用)
パソコン側インターフェイス	・PCIバススロット（PCI Revision 2.1以降） ・Low Profile PCI
消費電流	+5.0V…最大250mA、+12V…最大200mA
動作環境（温度）	+5℃～+55℃
動作環境（湿度）	20%～80%
サイズ	119.9mm×64.4mm （スロットカバー、コネクタ含まず）
質量	約57g

※ Asynchronous転送方式：Isochronous転送方式に比べて優先順位が劣ります。
ファイル転送などに使われます。
Isochronous転送方式 ：125μ秒毎に一定量のパケットを送受信を行う方式。
映像データや音声データなどに向いています。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【正常に動作しない場合】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

手紙：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3688　東京…03-3254-1095
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

サービス品に関するお問い合わせ（1394-PCI3/DV6のみ）

サービス品については、以下へお問い合わせください。

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号　03-5491-5662

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.ulead.co.jp/

E-mail　support@ulead.co.jp

受付時間　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（83ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,

ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

ユーザー登録

弊社からお客様へ連絡を差し上げる際の資料となります。是非ご登録をお願いします。

登録方法１/インターネット

http://www.iodata.jp/regist/

登録方法２/ハガキで登録

次ページをコピーし、ご記入の上、ハガキ裏面に貼って投函してください。

【送付先】
〒920-8513
石川県金沢市桜田町２丁目８４番地
アイ・オー・データ機器第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
ユーザー登録係　宛

①業種

1. 情報処理･ｿﾌﾄｳｪｱ開発
2. 製造業
3. 農林水産業･鉱業
4. 建設･不動産
5. 金融･保険業
6. 商社･卸･小売業
7. 流通業
8. 医療業務
9. 広告･放送･出版
10. サービス業
11. 官公庁
12. 学校･教育
13. 自由業
14. その他

②職種

1. 研究･開発
2. 設計･技術
3. 経営･管理
4. 総務･人事･経理
5. 企画･調査
6. 宣伝･広報
7. 営業･販売
8. サービス業
9. 自工自営
10. 専門職
11. 教職
12. 学生
13. 主婦
14. その他

③使用区分

1. 事務関係
2. 研究･開発
3. 専用システム
4. 趣味･ゲーム

④ご購入店区分

1. 家電店
2. パソコン専門店
3. 百貨店･スーパー
4. 通信販売
5. 事務機･文具店
6. OA機器販売商社
7. バージョンアップ
8. その他

（切り取り）

ユーザー登録番号	□□□□ □□□□ ※既に登録されている方のみ
登録区分	□個人 □法人(会社、学校、官公庁など)
ご住所	〒□□□ － □□□□ 都道府県
（ビル）（様方）	
法人名/部署	※法人のみ
業種・職種	業種①□□ 職種②□□ ※該当する番号を前ページ表の（①,②）より選択
お名前（ご担当）	フリガナ
	様 男女 大・昭・平 年 月 生
E-mailアドレス	
TEL	市外局番 （ ） － 内線（ ）
FAX	市外局番 （ ） －
製品シリアル番号	シリアル番号１： シリアル番号２： ※楷書体でご記入ください。（２製品までご記入いただけます。）
使用コンピュータ	メーカー名 本体名・型番 使用区分③
ご購入日	年 月 日 ご購入店区分④
ご購入店名	都道府県 市町村郡区

（切り取り）

1394-PCI3シリーズ 取扱説明書
2002.Jul.29　105183-02
発　行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

©2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。